

## 第 7 次広島県病院事業経営計画 骨子（案）

## 1 趣旨・計画期間等

## (1) 趣旨

第 6 次広島県病院事業経営計画（以下「現行経営計画」という。）の計画期間が満了することから、これまでの取組の成果や課題の振り返りや外部環境の変化などを踏まえ、更なる経営強化の取組により持続可能な地域医療提供体制を確保していくため、目指すべき姿を明確にするとともに、その実現に向けた取組方策や目標を定め、職員が一丸となって取り組むべき指針として第 7 次広島県病院事業経営計画（以下「次期経営計画」という。）を策定する。

## (2) 計画期間

令和 6（2024）年度（1 年間（※））

※ 「高度医療・人材育成拠点」の基本計画において、現県立病院の経営形態については、令和 7（2025）年度から地方独立行政法人による運営が計画されており、地方独立行政法人法で定められる中期計画を新たに策定するため、次期経営計画の期間は 1 年間とする。

## (3) 計画の位置づけ

次期経営計画は、総務省が「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン（以下「経営強化ガイドライン」という。）」（令和 3（2021）年 3 月 29 日付け総財準第 72 号総務省自治財政局長通知）により、病院事業を設置する各地方公共団体に策定を求める「公立病院経営強化プラン」（図表 1）に相当するものである。

図表 1 公立病院経営強化プランの内容

<p><b>(1) 役割・機能の最適化と連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能</li> <li>・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能</li> <li>・ <b>機能分化・連携強化</b></li> </ul> <p>各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。 特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。</p> <p><b>(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>医師・看護師等の確保</b>（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）</li> <li>・ 医師の<b>働き方改革</b>への対応</li> </ul> <p><b>(3) 経営形態の見直し</b></p> <p><b>(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組</b></p> <p><b>(5) 施設・設備の最適化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制</li> <li>・ デジタル化への対応</li> </ul> <p><b>(6) 経営の効率化等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営指標に係る数値目標</li> </ul>
---

（出典）総務省「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインの概要」から一部抜粋

2 現行経営計画期間中の主な取組実績及び課題（指標ごとの年次目標及び実績は巻末資料参照）

	取組実績	課題
<p><b>広島病院</b></p> <p>【重点的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機能の強化・患者満足度の向上</li> <li>○地域完結型医療への取組</li> <li>○業務改善・経営基盤の強化</li> <li>○医療を担う人材の確保・育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 救急医療について、県全体を俯瞰する救命救急センターとして、救急車受入台数は目標を上回り、三次救急患者数も増加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 救急車受入台数 H29:6,066台→R4:7,757台（目標6,500台）</li> </ul> </li> <li>○ 成育医療について、総合周産期母子医療センターとして、1,000g未満出生新生児患者数の受入県内割合5割超を維持するとともに、緊急母体搬送受入件数や生殖医療科採卵件数が増加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 緊急母体搬送受入件数 H29:165件→R4:187件（目標125件）</li> <li>◆ 生殖医療科採卵件数 H29:284件→R4:402件（目標300件）</li> </ul> </li> <li>○ がん医療について、ゲノム診療科を設置（R4年度～）し、がんゲノム医療提供体制の強化によりがんゲノム検査件数が増加した。また、「がんゲノム医療拠点病院」の指定（R5年度～）を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ がんゲノム検査件数 H29:7件→R4:189件（目標180件）</li> </ul> </li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）対応について、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け、広島県内医療機関の中で最大数の専用病床（93床（R4年度））を確保し、中等症以上の感染患者を中心とした入院受入及び感染妊婦の分娩を県内の医療機関で最も多く行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 入院受入患者数 R4:延9,507人（うち中等症以上4,895人）</li> <li>◆ 感染妊婦分娩数 R4:45件</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現行経営計画期間中は、令和元年度を除き、経常収支が黒字となった。（図表2）</li> <li>○ しかしながら、この黒字は、新型コロナ対策に係る一般会計補助金の受入によるものであり、医業収支の赤字は継続していることから、早期に医業収支の改善を図る必要がある。</li> </ul>
<p><b>安芸津病院</b></p> <p>【重点的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケア構築への貢献</li> <li>○地域の医療資源の維持</li> <li>○業務改善・経営基盤の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括ケア病床について、長期入院ニーズに対応し、21床から29床に8床増床（H29年度～）するとともに、訪問診療・看護による在宅療養支援の充実や健（検）診など、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 健（検）診件数 H29:2,715件→R4:2,940件（目標2,790件）</li> </ul> </li> <li>○ 二次救急の病院群輪番制病院体制や小児科診療を維持するなど一定の医療水準を維持しながら、骨粗鬆症外来などの専門外来（H29年度～）や整形外科のアウトリーチクリニック（R元年度～）を実施するなど、地域で必要とされる医療を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 専門外来受診患者数 H29:328人→R4:1,058人（目標950人）</li> </ul> </li> <li>○ 新型コロナ対応について、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定を受け、入院患者の受入、発熱外来の実施及び東広島市のワクチン接種業務への協力など病院全体で対応を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 入院受入患者数 R4:延842人（うち中等症以上582人）</li> <li>◆ 発熱外来患者数 R4:3,495人</li> <li>◆ ワクチン接種実施数 R4:3,421件</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現行経営計画期間中は、令和3年度を除き、経常収支が赤字となった。（図表2）</li> <li>○ 高齢化・人口減少に加えて、平成30年7月西日本豪雨災害や新型コロナの影響等により減少した患者数の回復により、医業収支の改善を図る必要がある。</li> </ul>

図表2 現行経営計画期間中の経常収支推移

【広島病院】



【安芸津病院】



### 3 環境変化

#### (1) 少子高齢化の進展

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本県の人口減少は今後も加速するものと予測され、総人口は令和7（2025）年に275.8万人、令和27（2045）年に242.9万人になると見込まれている。また、高齢者人口は令和27（2045）年には85.5万人に達し、更なる少子高齢化の進行に伴い、高齢化率は35%に達すると見込まれている。

#### (2) 医療の高度化

医療の高度化として、ゲノム診療の進歩や遺伝子治療薬の開発、ロボット技術の導入などにより、がんなどの難治性疾患に対する高度な治療が可能となっている。

#### (3) 医療費の増大

我が国の医療費は、高齢化の進展や医療の高度化などを背景に年々上昇しており、令和4（2022）年度の国民医療費は46.0兆円で、前年度に比べて1.8兆円の増加となった。国においては、診療報酬の抑制を含め、医療費の増加を抑制する政策を打ち出している。

#### (4) 医師の働き方改革

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により、時間外労働規制が医師にも原則として適用されることとなった。その後、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」により、令和6（2024）年度から適用が開始される。

#### (5) 新興・再興感染症

公立病院は、新型コロナへの対応において、積極的な病床確保と入院患者の受入をはじめ、発熱外来の設置やPCR検査、ワクチン接種などで中核的な役割を果たしているところであり、感染症拡大時に公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識された。新興感染症等への対応については、第8次医療計画から記載事項に追加することとされている。

## 4 次期経営計画の概要

### (1) 目指す姿

#### 【広島病院】

- ・ 三次保健医療圏（広島県全域）を視野に入れ、保健医療計画に沿った救急医療、脳心臓血管医療、成育医療、がん医療などの領域を中心に、高度急性期医療機能の維持・強化を図るとともに、災害時における医療体制を整備することで、基幹病院としての役割を果たす。
- ・ 地域医療で活躍する人材の確保・育成に取り組むことで、県全体の医療水準の向上に貢献する。

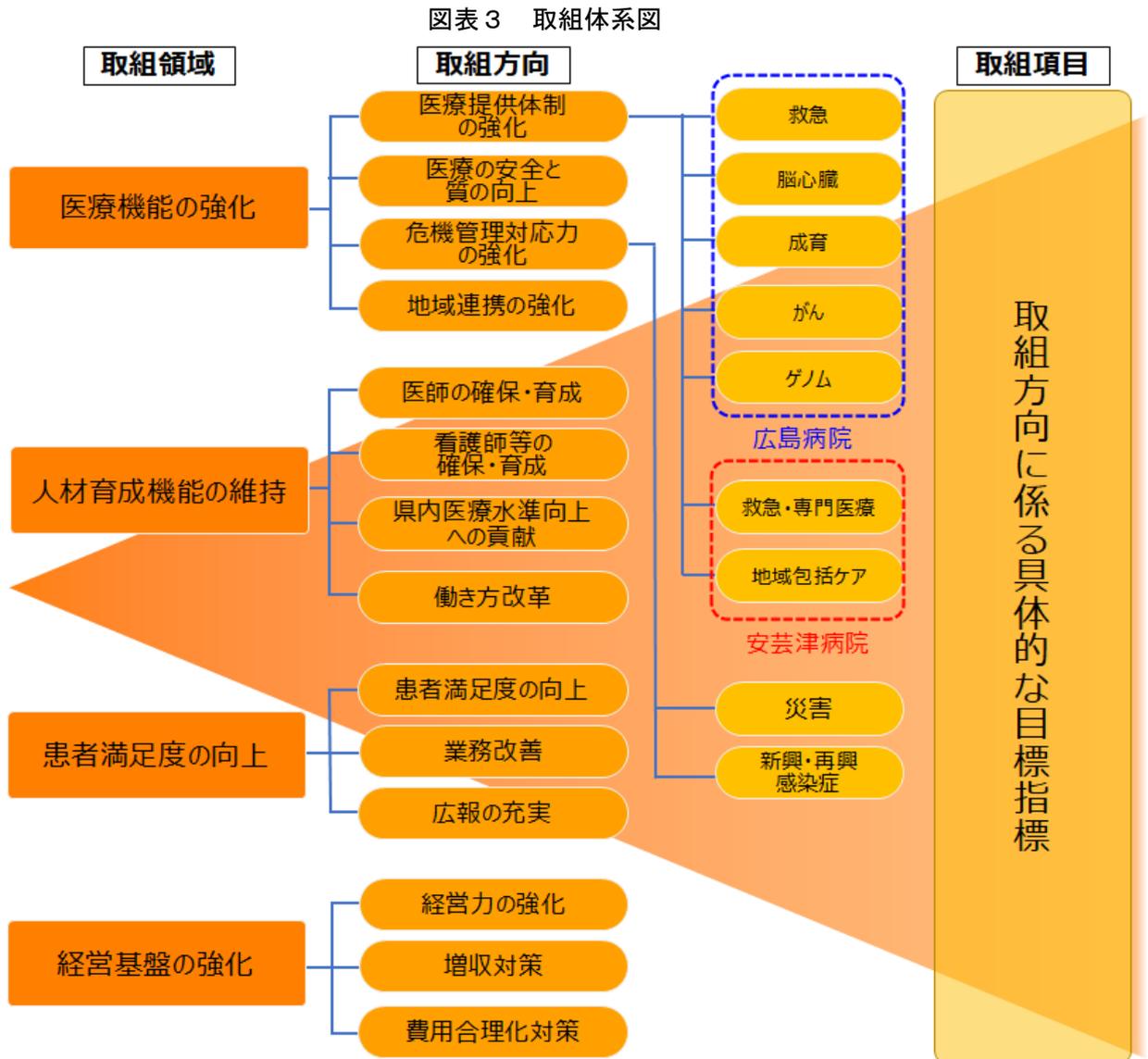
#### 【安芸津病院】

- ・ 地域住民の健康と暮らしを支えるため、二次救急の病院群輪番制病院体制や小児科診療などの維持に努めることで、地域の中核病院としての役割を果たす。
- ・ 地域の医療施設、介護施設、行政などの関係機関と連携し、在宅療養支援の充実や予防医療の強化などを図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献する。

### (2) 取組体系

目指す姿の実現に向け、現行経営計画に経営強化ガイドラインにおいて要請されている事項を追加（※）し、病院事業全体としての取組領域、取組方向及び取組項目（図表3）とともに、各県立病院において重点的取組（図表4）を設定する。

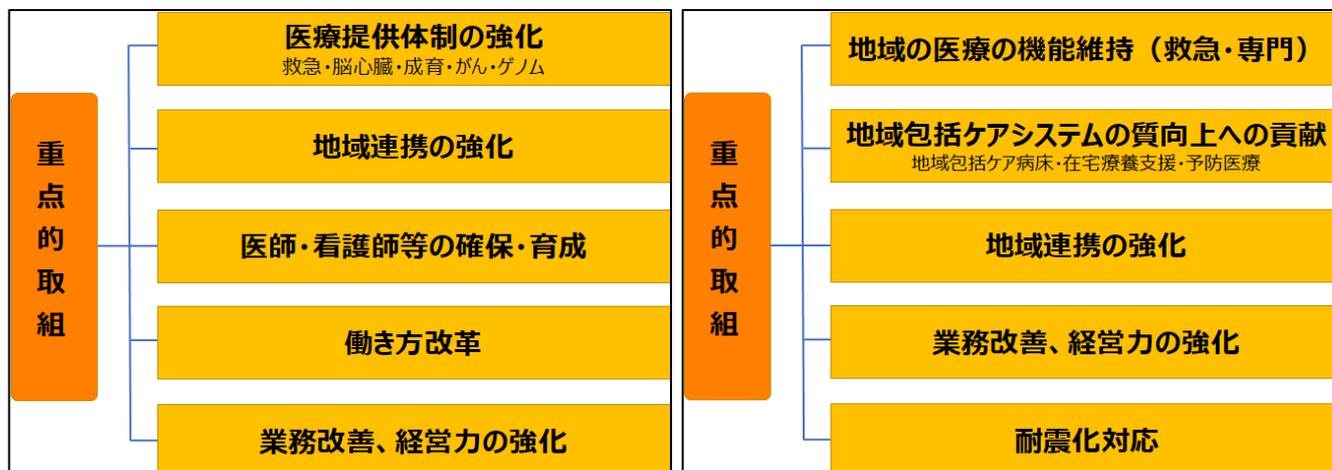
※ 働き方改革及び新興・再興感染症



図表4 各県立病院の重点的取組

【広島病院】

【安芸津病院】



(3) 取組項目

経営強化ガイドラインで要請される事項を踏まえ、持続可能な地域医療提供体制を確保するために、各県立病院が地域において果たすべき役割・機能などについて、次の取組項目を設定する。

ア 役割・機能の最適化と連携の強化

- (ア) 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- (イ) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- (ウ) 機能分化・連携強化
- (エ) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 など

イ 医師・看護師等の確保と働き方改革

- (ア) 医師・看護師等の確保
- (イ) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保
- (ウ) 医師の働き方改革への対応

ウ 経営形態の見直し

令和7年度から地方独立行政法人による運営を予定

エ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新興感染症等の感染拡大時の対応に必要な機能

オ 施設・設備の最適化

- (ア) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- (イ) デジタル化への対応

カ 経営の効率化等

- (ア) 経営指標に係る数値目標
- (イ) 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標
- (ウ) 目標達成に向けた具体的な取組 など

なお、具体的な目標指標については、計画素案に盛り込むこととする。

(4) 収支計画

調整中

【巻末資料】現行経営計画の目標指標達成状況（平成29（2017）年度～令和4（2022）年度）

【広島病院】

（年度ごとに目標を達成した項目について「◎」としている。）

目標指標	H29目標	H30目標	R元目標	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標	
	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績		
(1) 医療機能の強化								
I 医療提供体制の強化								
救急	【重点指標】 1) 救急車受入台数	5,500台 6,066台	◎ 5,700台 6,089台	◎ 5,850台 6,049台	◎ 6,000台 5,736台	◎ 6,000台 6,611台	◎ 6,500台 7,757台	◎ 8,000台
	2) 三次救急(ホットライン)受入率	96.2%	92.4%	91.6%	91.7%	91.7%	100% 90.0%	100%
	3) 二次医療機関からの重症患者受入応需率	-	95.0%	94.0%	95.9%	95.3%	100% 92.0%	100%
脳心臓	【重点指標】 4) 脳血管系と心血管系の新規入院患者及び救急外来からの緊急入院患者数	3,004人	2,882人	2,990人	2,940人	2,902人	3,000人 2,767人	3,000人
	5) 急性心筋梗塞PCI件数	100件	93件	98件	131件	112件	130件 100件	130件
	6) 急性期脳卒中に対する tPA治療件数	27件	30件	34件	23件	27件	40件 30件	35件
	7) 急性期脳卒中に対する血管内カテーテルによる血栓回収療法件数	24件	17件	29件	32件	33件	30件 44件	◎ 40件
	8) 未破裂、破裂動脈瘤の治療件数	73件	71件	73件	78件	60件	75件 59件	65件
	9) 心大血管手術件数	85件	62件	55件	75件	58件	75件 66件	80件
	10) 急性期リハビリテーション件数 (脳血管疾患等リハビリテーション件数及び心大血管疾患リハビリテーション件数の合計)	48,829件	44,487件	38,963件	44,108件	34,346件	45,000件 40,200件 37,655件	41,800件
生育	11) 1,000g未満出生新生児患者数受入の県内割合	62.5%	52.5%	57.4%	55.1%	51.9%	50% 65.5%	◎ 54%
	【重点指標】 12) 緊急母体搬送受入件数	150件 165件	◎ 150件 160件	◎ 150件 131件	150件 107件	131件 123件	125件 187件	◎ 150件
	13) 生殖医療科採卵件数	330件 284件	330件 283件	330件 282件	330件 241件	300件 257件	300件 402件	◎ 280件
	14) 生殖医療科遺伝カウンセリング件数 ※21) 遺伝カウンセリング算定件数の内数	0件	2件	1件	105件	110件 114件	◎ 110件 52件	65件
	15) 生殖医療科で妊娠が成立した妊婦が産婦人科へ院内紹介された件数	109件	107件	125件	73件	105件	100件 76件	135件
がん	16) 院内がん登録件数(暦年)[新規]		1,903件	1,965件	1,850件	1,860件	2,166件	2,100件
	【重点指標】 17) 手術支援ロボットによる手術件数[新規]					15件	123件	200件
	【重点指標】 18) 内視鏡的粘膜下層剥離術件数[新規]	109件	156件	168件	153件	205件	234件	200件
	【重点指標】 19) がんゲノム検査件数	7件	21件	77件	109件	154件	◎ 120件 180件 189件	◎ 230件
その他	20) 全身麻酔手術件数	4,400件 4,571件	◎ 4,400件 4,742件	◎ 4,400件 4,663件	◎ 4,400件 4,217件	4,500件 4,365件	4,500件 4,648件	◎ 4,800件
	21) 遺伝カウンセリング算定件数	0件	26件	20件	125件	218件	120件 139件	◎ 230件
	22) DPC/PDPS入院期間Ⅰでの退院例のパス適用率、DPC/PDPS入院期間Ⅱでの退院例のパス適用率	I :20.3% II :46.1%	I :22.0% II :52.2%	I :23.1% II :54.3%	I :26.1% II :52.8%	I :35.4% II :55.3%	I :40% II :50% I :33.9% II :57.5%	I :35% II :60%

目標指標		H29目標	H30目標	R元目標	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標	
		H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績		
(1) 医療機能の強化									
II 医療の安全と質の向上									
チーム医療の推進	23) 認知症ケア加算算定件数	2,622件	2,123件	1,813件	2,267件	2,500件 3,313件	2,500件 4,823件	◎	3,500件
	24) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定件数	2,212件	3,751件	3,832件	3,891件	3,800件 3,648件	3,800件 3,595件		3,800件
	25) 栄養サポートチーム加算算定件数	940件	868件	1,132件	797件	660件	1,100件 1,127件	◎	1,100件
	26) 糖尿病透析予防指導管理料算定件数	36件	24件	0件	10件	16件	10件 14件	◎	20件
	27) 周術期口腔機能管理料算定件数	8,663件	6,275件	6,020件	6,049件	6,344件	6,000件 6,765件	◎	7,500件
	28) 摂食機能療法算定件数	1,133件	1,062件	445件	596件	758件	600件 823件	◎	1,000件
	29) 精神科リエゾンチーム加算算定件数	26件	97件	88件	84件	91件	100件 97件		100件
看護の質向上	30) 転倒・転落発生率 レベル2以上 (軽度の処置を必要とした)	-	-	0.0023	0.00047	0.0003以下 0.00029	0.0003以下 0.0003	◎	0.0003
	31) 既に有していた褥瘡の改善率	-	-	69.0%	71.7%	71.0%	72% 70.4%		72%
	32) せん妄ハイリスク患者ケア加算算定件数	-	-	-	7,109件	8,000件 8,628件	8,000件 9,265件	◎	9,000件
	33) がん患者指導管理料算定件数(ロ※) ※がん患者指導料のうち看護師関与分	283件	324件	293件	341件	251件	400件 271件		350件
その他	【重点指標】 34) 入院期間Ⅱ超え割合	28.0%	27.6%	26.7%	25.6%	25% 21.2%	20% 22.8%	◎	23%
	35) インフルエンザ・COVID-19アウトブレイク件数	1件	1件	1件	0件	2件	0件 13件		0件
III 危機管理対応力の強化									
	36) 院内災害対応訓練延参加者数	-	-	106人	2,191人	3,621人	2,500人 3,263人	◎	2,500人
	37) 当院企画の災害訓練・研修会への延参加医療機関数	-	-	9施設	10施設	64施設	18施設 190施設	◎	50施設
IV 地域連携の強化									
	38) 患者紹介率	83% 97.7%	85% 93.4%	87% 93.5%	90% 88.1%	93% 93.8%	93% 94.3%	◎	93%
	39) 患者逆紹介率	100% 114.1%	105% 125.6%	107% 120.6%	110% 120.7%	120% 141.3%	125% 148.4%	◎	125%
	40) 院内研修への地域医療従事者の参加者数	450人 484人	450人 620人	450人 567人	450人 170人	450人 677人	160人 188人	◎	160人
	41) 地域への教育活動件数	390件	257件	289件	196件	280件 334件	280件 465件	◎	280件

目標指標	H29目標	H30目標	R元目標	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績	
(2) 人材育成機能の維持							
V 医師の確保・育成							
42) 専門研修プログラム専攻医数	-	広病 0人 他 31人	広病 1人 他 32人	広病 3人 他 35人	広病 5人 他 22人	広病2人 他 40人 広病 5人 他 21人	広病4人 他25人
43) 臨床研修指導医新規受講者数	6人	6人	7人	0人	7人 11人	7人 8人	7人
44) 初期臨床研修医採用マッチ率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
45) 初期臨床研修医広島県内定着率	81.3%	85.7%	94.1%	88.9%	100%	94.1% 87.5%	100%
46) 年間時間外勤務960時間を超過する医師数[新規]	-	-	-	-	-	7人	5人以下
47) 医師一人当たりの時間外勤務時間[新規]	-	-	-	-	-	32.8h	対前年度比 10%縮減
VI 看護師等の確保・育成							
48) 看護師の離職率(定年退職を除く)	-	-	6.64%	6.69%	3.62%	6.60% 5.72%	6.60%
49) 認定・専門・特定行為研修修了看護師数領域別確保数 【17領域37名(新規2名)、(特定行為研修者ががん薬物療法(1)心不全看護(1))】	1人	2人	1人	0人	1人	2人 2人	3人
50) メディカルスタッフ部門の認定資格取得・専門的資格取得者数 (放射線、検査、薬剤、栄養、リハビリ、ME)	147人	129人	114人	19人	60人 95人	60人 109人	100人
51) 学生実習の受け入れ実績 (まん延防止等重点措置以上の対策期間中以外は原則受け入れる)	426人	478人	437人	69人	440人	100人 779人	450人
VII 県内医療水準向上への貢献							
52) 医師・看護師等の講師派遣回数	200回 390回	200回 257回	200回 289回	200回 203回	200回 589回	200回 603回	600回
(3) 患者満足度の向上							
VIII 患者満足度の向上							
53) 患者意見箱に投稿された意見に対して実効的な改善に取り組んだ割合	78.2%	68.4%	88.6%	65.0%	56.7%	75% 78.3%	75%
54) 患者アンケートの満足度(入院・外来)	97.3%	96.4%	97.1%	97.0%	97.5% 97.3%	97.5% 97.4%	97.5%
IX 業務改善							
55) TQM手法習得者数(累積)	219人	329人	431人	541人	652人	719人 795人	841人
X 広報の充実							
56) 取材協力件数	4件	4件	6件	8件	10件 34件	10件 22件	10件
57) プレスリリース件数	1件	0件	0件	0件	5件 2件	5件 4件	5件

目標指標	H29目標	H30目標	R元目標	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績	
(4) 経営基盤の強化							
X I 経営力の強化							
<b>【重点指標】</b>	16,920人	17,000人	17,000人	17,000人	17,000人	16,900人	17,900人
58)新規入院患者数	17,313人	16,834人	16,825人	15,624人	15,895人	16,421人	
59)病床稼働率(700床)	87.7%	88.1%	87.9%	88.1%	70.0%	66.0%	70.3%
	85.1%	78.1%	77.3%	71.5%	65.9%	69.2%	
X II 増収対策							
<b>【重点指標】</b>	68,846円	69,200円	69,600円	70,000円	83,029円	89,800円	92,800円
60)入院単価	71,980円	76,753円	78,977円	82,902円	89,013円	90,377円	
61)特定入院料の算定率(ICU)					90%	90%	90%
	72.1%	85.7%	90.3%	85.9%	92.6%	92.7%	
62)特定入院料の算定率(HCU) ※救命救急入院料算定病床					51%	51%	55%
	48.9%	43.4%	51.3%	49.6%	57.6%	57.2%	
X III 費用合理化対策							
63)材料費/医業収益	30.3%	30.4%	30.7%	31.1%	36.1%	36.1%	36.1%
	31.5%	31.9%	34.1%	35.7%	36.8%	34.6%	
64)後発医薬品及びバイオ後続品切替効果額					35,000千円	160,000千円	180,000千円
	-	-	32,170千円	54,876千円	60,758千円	157,189千円	

目標指標	H29目標	H30目標	R元目標	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績	
<b>(1) 医療機能の強化</b>							
<b>I 医療提供体制の強化</b>							
1)手術件数	380件 344件	380件 326件	380件 278件	380件 262件	290件 211件	290件 245件	290件
2)内視鏡検査件数	1,850件 1,693件	1,900件 1,650件	1,950件 1,698件	2,000件 1,505件	1,900件 1,387件	1,900件 1,405件	1,900件
【重点指標】 3)救急搬送受入件数	370件 401件	◎ 370件 349件	◎ 370件 406件	◎ 370件 359件	370件 301件	370件 401件	◎ 420件
【重点指標】 4)専門外来受診患者数 (糖尿病, 人工関節, 骨粗鬆症, フットケア)	328人	575人	665人	754人	770人 954人	◎ 950人 1,058人	◎ 1,080人
【重点指標】 5)健(検)診件数	2,337件 2,715件	◎ 2,337件 2,838件	◎ 2,337件 3,254件	◎ 2,337件 2,743件	◎ 2,790件 3,019件	◎ 2,790件 2,940件	◎ 2,790件
【重点指標】 6)訪問看護新規者数	28人	27人	27人	30人	28人	32人 17人	32人
7)地域包括ケア病床における在宅復帰率	80.0% 89.2%	◎ 80.0% 81.7%	◎ 80.0% 84.9%	◎ 80.0% 89.1%	85.0% 78.6%	85.0% 81.5%	85%
<b>II 医療の安全と質の向上</b>							
8)転倒・転落発生率(レベル2以上)	0.00027	0.00045	0.00055	0.00019	0.00020 0.00048	0.00020 0.00034	0.00020
9)入退院支援加算算定件数	607件	729件	834件	769件	800件 676件	800件 620件	800件
10)せん妄ハイリスク患者ケア加算算定件数	-	-	-	573件	553件	580件 541件	580件
11)在宅患者支援病床初期加算算定件数	-	-	-	694件	762件	830件 1,104件	◎ 830件
<b>III 危機管理対応力の強化</b>							
12)感染症に関する研修参加率	-	-	-	-	100%	100%	◎ 100%
<b>IV 地域連携の強化</b>							
13)介護支援連携指導料算定件数	120件 127件	◎ 120件 123件	◎ 120件 228件	◎ 120件 124件	200件 47件	200件 31件	200件
14)患者紹介率	18.8%	17.9%	20.4%	21.5%	23.0% 17.7%	23.0% 17.2%	23.0%
15)患者逆紹介率	23.4%	26.1%	28.4%	29.7%	30.0% 28.6%	30.0% 21.5%	30.0%

目標指標	H29目標	H30目標	R元目標	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4実績	
(2) 人材育成機能の維持							
V 医師の確保・育成							
16) 初期臨床研修 地域医療研修の受入人数	7人 10人	7人 8人	7人 8人	7人 8人	8人 8人	8人 7人	7人
17) 年間時間外勤務960時間を超過する医師数[新規]	-	-	-	-	-	0人	0人
18) 医師一人当たりの時間外勤務時間[新規]	-	-	-	-	-	199時間	対前年度比 10%縮減
VI 看護師等の確保・育成							
19) 認定・専門看護師数	0人	0人	0人	0人	1人 1人	1人 0人	1人
20) メディカルスタッフ部門の認定資格取得・専門的研修参加者数 (放射線、検査、薬剤、栄養、リハビリ)	1人	1人	0人	0人	4人	1人 2人	1人
VII 県内医療水準向上への貢献							
21) 地域開放型研修会の参加者数 ※(地域への講師派遣を含む。)	186人	194人	153人	0人	30人	25人	50人
(3) 患者満足度の向上							
VIII 患者満足度の向上							
22) 患者アンケートの満足度(入院)	95.0% 97.9%	95.0% 97.1%	95.0% 97.4%	95.0% 99.1%	98.0% 94.8%	98.0% 93.2%	98.0%
23) 電話再診件数	0件	0件	11件	188件	250件 363件	200件 436件	350件
IX 業務改善							
24) TQM手法習得者数	20人	33人	23人	0人	20人 0人	10人 4人	10人
25) 5S活動参加率	-	-	-	-	91.0%	70.0% 84.0%	80.0%
X 広報の充実							
26) HP閲覧件数	-	-	-	-	16,500件 22,673件	16,500件 25,236件	23,000件
(4) 経営基盤の強化							
XI 経営力の強化							
【重点指標】 27) 新規入院患者数	1,192人	1,056人	1,112人	988人	830人	1,000人 800人	1,000人
28) 病床稼働率(98床)	93.8%	80.1%	81.1%	74.4%	73.6% 65.7%	90.0% 59.2%	90.0%
XII 増収対策							
【重点指標】 29) 地域包括ケア病床稼働率	98.0% 101.0%	98.0% 93.1%	98.0% 89.9%	98.0% 89.7%	98.0% 63.3%	98.0% 74.5%	98.0%
30) 入院単価	31,358円	33,737円	33,561円	34,356円	34,207円	35,000円 44,598円	37,990円
XIII 費用合理化対策							
31) 材料費/医業収益	19.1%	20.0%	19.9%	20.0%	22.8% 24.3%	22.8% 21.5%	22.8%
32) 後発医薬品及びバイオ後続品切替効果額	-	-	-	-	150千円	300千円 975千円	760千円